


発本原第 179 号
平成 27 年 3 月 10 日

原子力規制委員会 殿

福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号
九州電力株式会社
代表取締役 瓜生道
社 長



工事計画認可申請書の一部補正について

平成 25 年 7 月 8 日付け発本原第 88 号をもって申請しました工事計画認可申請書(平成 26 年 9 月 30 日付け発本原第 95 号、平成 26 年 10 月 8 日付け発本原第 99 号及び平成 27 年 2 月 27 日付け発本原第 175 号にて一部補正)について、別紙のとおり補正します。

(2) 内燃機関に係る次の事項

イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所（荷役及び可搬型の別に記載すること。）

・ 施設

			変更前		変更後			
機 関	名 称		ディーゼル発電機 内燃機関		ディーゼル発電機 内燃機関 (重大事故等時のみ1,2号機共用)			
	種 類	種 類	ディーゼル機関		変更なし			
		出 力	kW/個	5,700 (5,899 ^(注2))				
	回 転 速 度	mm ⁻¹ ^(注4)	400					
	燃 料 使 用 量	種 類	A重油 ^(注1)					
		使 用 量	ℓ/h/個	■				
	個 数		2					
	取 付 所	系 統 名 称 (ラ イ ン 名)		Aディーゼル発電機 ^(注1)			Bディーゼル発電機 ^(注1)	
		設 置 区 画 番 号		ディーゼル建屋 EL.13.3m ^(注1)			ディーゼル建屋 EL.13.3m ^(注1)	
	過 給 機	溢 水 防 護 区 画 番 号					1-7-W	1-7-V
溢 水 防 護 区 画 番 号							EL.9.53m 以上	EL.9.53m 以上
過 給 機	種 類		遠心送風機		変更なし			
	出 口 の 圧 力	kPa	157 ^(注3)					
	回 転 速 度	mm ⁻¹ ^(注4)	16,500					
	個 数		4 (機関1台当り2)					
取 付 所		機関と同じ						

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) SI単位に換算したものである。

(注3) 内燃機関の出力を示す。

(注4) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

以下の設備は、既存の2号機設備であり、本工事計画で重大事故等時のみ1号機及び2号機共用とする。

・常設

ディーゼル発電機内燃機関（2号機設備、重大事故等時のみ1,2号機共用）

ハ、内燃機関に付属する冷却水設備の名称、種類、容量、駆動及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

		変 更 前		変 更 後		
名 称		ディーゼル発電機シリンダ冷却水ポンプ ^(注1)		ディーゼル発電機シリンダ冷却水ポンプ (重大事故等時のみ1.2号機共用)		
種 類	-	うず巻形 ^(注2)		変更なし		
容 量	m ³ /h/個	■■■■以上 (180 ^{(注2)(注3)})				
個 数	-	2				
取 付 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	Aシリンダ冷却水ポンプ ^(注1)	Bシリンダ冷却水ポンプ ^(注1)			
	設 置 所	-	ディーゼル建屋 EL.13.3m ^(注2)	ディーゼル建屋 EL.13.3m ^(注2)		
	溢水防護上の区画番号	-			1-7-W	1-7-V
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-			EL.9.53m 以上	EL.9.53m 以上

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には、「内燃機関に附属する冷却水設備」として燃料弁冷却水ポンプの容量とシリンダ冷却水ポンプの容量の合計値 (185 t/h/個) を記載。

(注3) 公称値

以下の設備は、既存の2号機設備であり、本工事計画で重大事故等時のみ1号機及び2号機共用とする。

・常設

ディーゼル発電機シリンダ冷却水ポンプ（2号機設備、重大事故等時のみ1,2号機共用）

・常設

				変更前		変更後	
名		称		ディーゼル発電機 ^(注1)		ディーゼル発電機（重大事故等時のみ1,2号機共用）	
種		類		横置回転界磁 三相交流同期発電機 ^(注2)			
容		量		kVA/個 ^(注3)		7,125	
主要寸法	全	長	mm	3,300 ^(注1) ^(注4)			
	全	幅	mm	3,900 ^(注1) ^(注4)			
	全	高	mm	3,000 ^(注1) ^(注4)			
力		率		%		80（遅れ）	
電		圧		V		6,900	
相				-		3	
周		波		数		Hz	
回		転		度		min ⁻¹ ^(注5)	
結		線		法		-	
冷		却		方		法	
個		数		-		2	
取付箇所	系（ライン名）		統（名）		-		Aディーゼル発電機 ^(注1) Bディーゼル発電機 ^(注1)
	設		置		床		ディーゼル建屋 EL.13.3m ^(注1) ディーゼル建屋 EL.13.3m ^(注1)
溢水防護上の 区画番号				-		1-7-W 1-7-V	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ				-		EL.9.53m 以上 EL.9.53m 以上	

変更なし

- (注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
(注2) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「横置回転界磁 三相交流同期発電機」と記載。
(注3) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「kVA」と記載。
(注4) 公称値
(注5) 記載の適正化を行う。既工事計画書には「rpm」と記載。

以下の設備は、既存の2号機設備であり、本工事計画で重大事故等時のみ1号機及び2号機共用とする。

- ・ 常設

- ディーゼル発電機 (2号機設備、重大事故等時のみ1,2号機共用)